



みんなでつくろうふるさと荻島

コミ協おぎしま

2025年(令和7年)10月1日 第59号

発行／荻島地区コミュニティ推進協議会
〒343-0804 越谷市南荻島190-1
荻島地区センター・公民館内
☎ 048-974-9555 FAX 048-974-9879

子ども 農業 体験



わたしは、初めて田植えをしてみた。田の中に入つて田植えをしてみたら、思っていたよりも大変でした。けれど、どんどんやつていつたら、最初よりも上手に植えられるようになつて、とてもうれしかつたし楽しかつたです。農家さんや地域のみなさん、このような体験をさせてくださいありがとうございました。この体験で、農家さんの大変さも分かつたし、食べ物をもつと残さず食べようという気持ちや、もっと大切にしようと思う気持ちが今まで以上に持てました。今度は、稲かりをがんばりたいです。

田植え体験をして

5年2組 高橋 莓果

わたしは、初めて田植えをしてみた。田の中に入つて田植えをしてみたら、思っていたよりも大変でした。けれど、どんどんやつていつたら、最初よりも上手に植えられるようになつて、とてもうれしかつたし楽しかつたです。農家さんや地域のみなさん、このような体験をさせてくださいありがとうございました。この体験で、農家さんの大変さも分かつたし、食べ物をもつと残さず食べようという気持ちや、もっと大切にしようと思う気持ちが今まで以上に持てました。今度は、稲かりをがんばりたいです。

私は、初めての田植え体験をしました。田植えをする前はとてもきんちょうして、ちゃんとできるかな。という不安もありました。でも、私の分からぬことを全て教えてくださいたので、「自分はできる!」という熱い気持ちを持つて、田植えができました。最初入った時は、「気持ち悪い」と不快に思いました。でも、さっき持つた熱い気持ちを忘れずに、田植えを行いました。すると、自分が思ってたよりも楽しくてどんどん進めました。その時の私は苗に「あいしく育つて」という思いを込めて田植えをしていました。

5年3組 加藤 空歩

開催当初に比べ、規模が少しづつ大きくなつてきましたが、部員数が少ない中でも多くの方々のご協力により、円滑に運営できました。小学生たちの「楽しかつた」、「まだやりたい」という声が聞くことができて、この事業をやりきることができます。

荻島地区コミ協
マスコットキャラクター
「いなぼっぷ」

うきうき アメフト スポーツ 大会

文教大学アメリカンフットボール部
主将 石丸 明日翔

コミ協環境部会では、地区内環境美化に対する意識向上と地域住民の交流を目指し、今年度も皆さんのご協力により、花いっぱい運動と花いっぱいまつりを無事に行うことができました。ありがとうございました。



荻島地区コミュニティ推進協議会
環境部会長 松沢 浩之

花 いっぱい運動について



4月の種まきから始まり、グリーンカーテンの設置、花の苗の植えつけ、花苗とゴーヤの定植や2度の草取り等を行つてまいりました。

6月に行つた花いっぱいまつりも皆さんのご協力により順調に終りましたが、一般の方の参加を増やすのが今後の課題だと思っていました。

この後も11月には冬の花の花植えや草取りもありますので、

引き続きご協力をよろしくお願ひします。

荻島地区盆踊り大会

荻島地区盆踊り大会実行委員会

実行委員長 関根 久治



今年の荻島地区盆踊り大会は、参議院選挙があり、当初予定より1週間遅れの7月26日の開催となりました。

やぐら組みについては昨年に引き続き業務委託により行い、舞台の飾り付けやその他の準備は、実行委員やスポ・レク委員及び文教大学アメリカンフットボール部の皆さんのご協力により、立派な会場に出来上りました。

当日は天候にも恵まれ、開始前より大勢の来場者があり、や

きとり等の出店や盆踊りでにぎわい、久しぶりの組太鼓演奏には大

いに盛り上がりを見せ

るなど、参加者の皆さんのが協力により全プログラムを無事終了することができました。

今後も、皆さんがより楽しめるような盆踊り大会にしていただけで、何卒よろしくお願ひいたします。

おぎしま防災キャンプについて

荻島地区コミュニティ推進協議会

青少年部会長 阿達 富美子



今年度、第2回「おぎしま防災キャンプ」が総勢約50名で開催されました。防災についての講演では、経験こそ力になる等と、今回のイベントの主旨にも添う内容でした。その他、起震車体験、ダンボール製のベッドやトイレの組み立ては、前回同様、大人気でした。文教大学アメフト部の学生による新ゲーム「ジョーズ」は、椅子を参加人数分横に並べ、椅子に立ち、沈黙の中でミッショーン（誕生日順や名前の順など）を全員協力して達成するゲーム。声を出したり、椅子から落ちると「ジョーズに食べられるぞ」と、ドキドキしながら、喜々としてゲームに臨んでいました。

最後に、アルファ米と乾パンの試食をしながら、イベントの感想や質問を話し合うことが出来ました。

近年、多発している地震や雨による災害が身近にせまつた際、今回の経験が、子供たちの力となればと思います。



アルファ米・乾パン

青少年健全育成研修会について

青少年指導員協議会

会長 大熊 正行



7月6日、令和7年度青少年健全育成研修会を開催いたしました。

当日は、越谷市男女共同参画支援センターの土方佳氏を講師に招き、「大人に知つておいて欲しいデータDVって？」と題した講演をしていただきました。

データDVの実態や問題点、周囲の大人として被害者や加害者に対して、どのような対応をすべきかを学ぶことができました。特に被害に遭つている方への対応ひとつ取り返しのつかない事案になることを、実例を挙げながら説明していただき、このような情報を知ることの大切さを感じました。

今後も、荻島地区の皆様方のご理解とご協力のもと、青少年の健全育成に取り組んで参りますので、何卒宜しくお願い致します。

編集後記

今年は昨年からの米不足が続き、購入するにも高値が続き、店の在庫もなく、なかなか今まで通りにはいかない状況になっています。コミ協では今年度も小学校5年生の皆さんと、田植えと稲刈り体験を行っています。体験をした皆さん、ニュースの内容が特に身近に感じられたのではないでしょうか。皆さん、日々、普通にお米を食べられているのであれば農家の皆さんに感謝ですね。(広報部会)